

令和7年度 都市整備部いこま考座

〔開催概要〕

テーマ	都市整備部のしごと、住まいのリテラシー（より良い住まい方を選択・判断する能力）について考えてみませんか？	
とき	8月16日（土）	10時～12時10分
ところ	市役所401・402会議室	
参加人数	6人（申込者9人・欠席3人）	
市側出席者	・都市整備部長、都市整備部次長、都市づくり推進課長、学研推進課長、住宅課長、施設マネジメント課長、建築課長	
プログラム	・都市整備部各課の主な事業内容についての説明 ・ワークショップ 「住まいのリテラシーについて考えよう！」	

〔まとめ〕

本市における住まい方の現状や理想について意見交換を行うなど、住まいのリテラシー（より良い住まい方を選択・判断する能力）について学ぶ良いきっかけを提供することができた。また、都市整備部の事業内容や住まいのリテラシーについての説明を通して、持続可能な都市づくりについて理解を深めていただく良い機会となった。

〔主なご意見等〕

<“いこま”では、どんな住まい方ができる？>

- ・ゆとりある既存ストックを活用するなど、中古住宅の活用も住まいの選択肢になっている。
- ・駅チカの利便性や賑わい、郊外等の自然環境など、様々な住環境を楽しむ住まい方ができる。
- ・ハード面以外では、地域住民との様々な交流の機会も豊かな住生活の重要な要素となっている。

<ライフステージにあった理想の住まい方とは？>

- ・将来を見据えた住まいの選択やライフステージの変化に合わせた改修、住み替えなど、何に重点を置くかで理想の住まい方が異なる。
- ・子供から高齢者まで、誰もが快適に暮らせる住環境が求められる。
- ・地域の交流、関係づくりがいざと言う時の支え合いや豊かな住生活の実現に繋がる。



住まい方の現状や理想について、活発に意見交換していただきました。